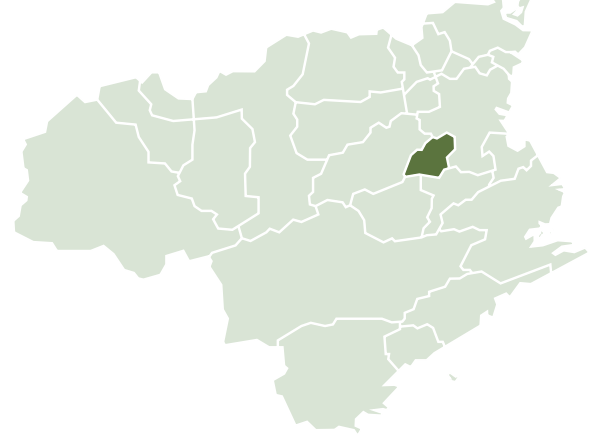


さち香る 風の谷、佐那河内村の旅



FEEL! SANAGOCHI VILLAGE TOUR

佐那河内村で徳島を感じる旅



日常のほんの
少しだけ先に。
自然の恵みと穏やかな
幸福感に包まれる場所

佐那河内村最高峰の“旭ヶ丸”を背に“園瀬川、嵯峨川、音羽川”が流れる山紫水明の谷あいの里。いにしえより農業が盛んで、良質な米、野菜、果物、柑橘にも恵まれてきました。上空には、風力発電にも適した穏やかな風が四季を通じて吹いています。大きな自然災害もなく、千年以上にわたり人の営みを見守ってきたこの豊かな風土性は、現代の都市空間にはないノスタルジーや根源的な価値に満ちあふれています。徳島市内より車でわずか20分、日常のほんの少しだけ先に「さち香る風の谷」佐那河内村があります。

PICKUP CONTENTS コンテンツの魅力

SPIRITUAL



雄大で魅力あふれる、大川原高原

佐那河内村を代表する観光スポット「大川原高原」。徳島市内から車でおよそ1時間。高原には約3万本のあじさいが植えられ、6月下旬からの1ヶ月間は、県内外から多くの観光客が訪れます。また、高原からみる360度のパノラマは、晴れた日には紀伊半島まで見渡すことができ、夜の星空は手が届きそうなほど輝いて見えます。眺望以外にも、尾根に沿って立ち並ぶ風車や放牧牛など、周囲に広がる自然を身近に感じることができます。

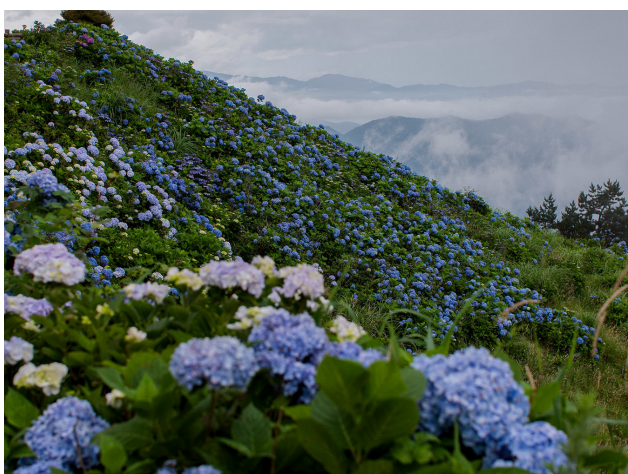
CHALLENGE



駆け上がれ、風の谷！さなごうち大川原高原ヒルクライム

大川原高原では、年間500人を超えるローディーが、己の限界に挑戦するため、はるか頂にそびえる風車を目指します。2023年11月、競技用自転車を用いて大川原高原までの道の走破時間を競う自転車レース「さなごうち大川原高原ヒルクライム」プレ大会を開催。今後も継続的な大会の開催を目指しています。カーボンニュートラルな自転車イベントを通じて、「大川原高原」を吹き抜ける風を全身で感じてみませんか。

NATURE



天空を青に染める、3万本のあじさい

大川原高原を語る上で欠かせない魅力の一つに、一面に植えられた約3万本のあじさいがあります。土壌の酸性度が強い大川原高原では、花の色は青色になりやすく、空の色に似た無数のあじさいの花畑の中を散歩できます。佐那河内村では、毎年7月初旬に「あじさいまつり」が開催され、県内外から多くの人々が訪れます。祭りでは、普段見ることができない風車内の見学のほか、様々な体験イベントや各種団体のステージ、いろいろな出店で賑わいます。

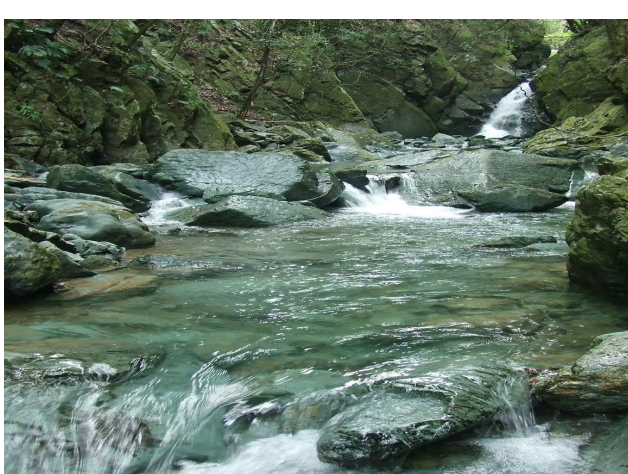
CULTURE



ふるさとづくり、納涼夏まつり

佐那河内の夏を代表するイベントは、毎年8月13日に開催される「ふるさとづくり納涼夏まつり」です。イベントのテーマは「出会い・ふれあい・郷土愛」で、中央運動公園グラウンドで行われます。村内で活動する各種団体のステージや趣向を凝らしたメインゲストの出演があり、佐那河内すだち連による阿波踊りが会場を躍動させます。最後には約600発の花火が打ち上げられ、美しい花々が夜空に咲き誇ります。

SUSTAINABLE



子どもたちの遊び場、ホタル舞う嵯峨川

佐那河内村を流れる嵯峨川には、川の遊び場としての「遊泳場」があります。毎年、本格的な川遊びシーズンを前に、小学校PTAの方が掃除をしています。子どもたちが滑って怪我をしないように、安全に川遊びができるように、秋から春の間にたくさん生えた藻をデッキブラシで落とします。この掃除の後、子どもたちは「遊泳場」で泳いだり、飛び込んだり、魚を探したり、それぞれの楽しみ方で川遊びを満喫します。また、ここでは、5月末から6月初旬まで、地元の人々の協力で付近の街灯が一時消灯され、日没から21:00頃までの約2時間、川沿いを舞う多くの蛍を間近で眺めることができます。

FOOD



食卓にごちそうを届ける、村の自然の恵み

佐那河内村には、地元徳島の料理人をはじめ京阪神市場・東京市場にも支持される質の高い自然の恵みが数多くあります。江戸時代に藩主に献上されていた「御膳米」、村の象徴である「みかん」、や「すだち、ゆず、ゆこう」などの和柑橘、村のオリジナルブランドで全国的に有名な「さくらももいちご」のほか、「達磨キウイフルーツ」、「大川原ねぎ」、「しいたけ」、「菜の花」などが栽培されており、県内外の食卓に村のごちそうを届けています。これらは、村内の産直市や販売店、ふるさと納税など、様々なところで入手することができますので、ぜひ村のおいしさを味わってみてください。

